

神奈川県石川ひろのり

県議会レポート 2016 特別号

住み続けたい街
麻生区のために

石川ひろのり事務所
〒215-0011 川崎市麻生区百合丘 1-5-4 米山ビル 202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1 神奈川県庁新庁舎 7 階
TEL 045-210-7620 FAX 045-210-8911

<http://www.hiro-ishikawa.jp/>  石川ひろのり 

本当に神奈川県は住みやすいのか
あなたの納めた税金を
「生まれて・育て・住んで良かった」
誇りある神奈川に。
今日より明日はきっといいことがある。
住み続けたい神奈川を目指して。



県政
刷新

プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。引きこもり支援相談士。2015年県議会議員選挙初当選。麻生区在住。

徹底的に 現場主義

石川ひろのり 一般質問に登壇

石川ひろのりの主な質問

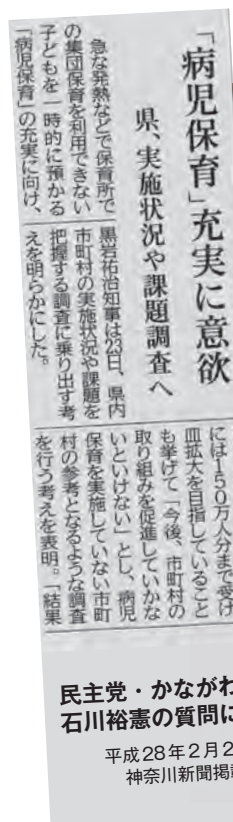
横浜市営地下鉄3号線及び 小田急多摩線の延伸について

石川 平成12年の運輸政策審議会答申において「平成27年までに開業することが適当と位置づけられた路線」のうち、横浜市営地下鉄3号線延伸は、いまだに着工すらされていない。一方、小田急多摩線延伸は「今後整備について検討すべき路線」とされたが、地元市等が平成39年までの実現を目指すとしている。今後、橋本駅付近にリニア中央新幹線の駅が開業する予定もあり、横浜市営地下鉄3号線延伸、小田急多摩線延伸は、ともに県の広域交通ネットワークとして鉄道事業計画の中心になる事業であると考える。

知事 横浜市北部や川崎市内陸部の利便性の向上が期待できる。「横浜市営地下鉄3号線」延伸については横浜市と川崎市で協議を重ねている。横浜市はルートの調査などを進めており、川崎市はこれに協力するとともに、今後駅周辺の活性化に向けた調査などを進める予定と聞いている。県としては両市が連携し、実現に向けた検討がさらに深められると認識している。延伸を実現させるために、国の次期答申に盛り込まれるよう横浜市、川崎市の意見を聞いたうえで、さらに国に要望をしていく。多摩線延伸については、相模原補給処の返還など、延伸の環境は整いつつある。地下鉄3号線延伸と同様、国の時期答申に引き続き盛り込まれるよう国に働きかけ、相模原市と連携し、計画のレベルアップを図れるよう取り組んでいく。

病児保育事業について

石川 現在、女性の社会進出やひとり親家庭の増加など社会環境が変化している中では、病児保育事業の充実が必要であり、県としても積極的に取り組むべきである。しかし、先日発表された県の28年度当初予算案によれば、県内33市町村のうち、病後児を含めた病児保育事業を実施するのは、半分以上の14市しかない。子ども・子育て支援新制度の中で、病児保育は市



町村が取り組む事業とされているが、県民にとって、住んでいる地域が違うというだけで、同じ行政サービスが受けられないのは、望ましい状況とはいえない。

知事 県内では平成26年度はのべ47か所、のべ2万5千人と全国平均より多いものの、33市町村のうち、14市でしか実施しておらず、十分進んでいるとは言えないのが現状。今後、市町村の取り組みを促進していかなければならない。石川議員の提案を踏まえ、各市町村の病児保育の実施状況や実現に向けての調査を実施し、その結果に応じ取り組みを検討していく。

石川 半数以上の市町村で病児保育のサービスを受けられないのは問題である。採算が合わず、取り組む事業者が少ないとの話もあった。ならば、県医師会や病院協会など医療機関に働きかけをし、市町村と連携をするべきである。

民生委員の担い手確保について

石川 民生委員は、地域福祉の要として、その役割は重みを増す一方であるが、委員のなり手不足が各地で深刻化している。県全体では、2月1日時点で定員3,992人のうち、61人の欠員が発生している。一方、民生委員の平均年齢

は65歳と徐々に高齢化しているが、地域の元気な高齢者の方や、地域に貢献したいと思う方もおり、生きがいや社会貢献といった選択肢の一つとして、民生委員として活動していただけるように、この業務の大切さや普段の委員の活動紹介などの広報を積極的に行うことも大切である。本年12月の改選にむけて欠員がないよう、県としても積極的に取り組むべきである。

保健福祉局長 民生委員の困難性や負担感が増す中で、担い手の確保が厳しい市町村もあると認識している。民生委員の活動をしやすい環境をつくるために、民生委員活動の手引の作成や、ノウハウを学ぶ研修の支援を行っている。また、国に対して活動費の増額を要望している。地域には高齢でも元気な方がいる。候補者を推薦する市町村がより幅広く人材を集められるよう現在の年齢制限の撤廃など選任要件の見直しを図る予定である。

他、県知事に「ライフノベーションセンターの県民への還元」「東京に訪れた外国人をターゲットにしたプロモーション」「県営住宅整備の方向性」について質問し、教育長に「通学合宿」について質問いたしました。

県政報告 (タウンニュース掲載)



石川ひろのり
プロフィール

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／衆議院議員岩田哲人事務所／参議院議員政策秘書／衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

10月15日、神奈川県庁で「平成28年度予算・施策に関する要望書」を県議会第2会派民主党から各町村として県議会へ提出しました。県内各市町村、諸団体からヒアリングをし、会派として議論を行い、まとめあげたものです。その中で、麻生区の皆様から地

域要望として頂いております。延伸により駅南口、北口の再構築をすることによって、週末の同駅周辺の渋滞緩和と、地域からの声が大きい。延伸により駅南口、北口の再構築をすることによって、週末の同駅周辺の渋滞緩和と、地域からの声が大きい。延伸により駅南口、北口の再構築をすることによって、週末の同駅周辺の渋滞緩和と、地域からの声が大きい。

民主党かながわクラブ
県政報告Vol.3

横浜市営地下鉄3号線延伸の要望を提出

神奈川県議会議員 石川ひろのり



石川ひろのり 事務所

麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202
☎044-455-6611
☎044-455-6614
http://www.hiro-ishikawa.jp

「横浜市営地下鉄3号線延伸の要望を提出」 2015年11月6日



石川ひろのり
プロフィール

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／衆議院議員岩田哲人事務所／参議院議員政策秘書／衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

議員活動一年目の昨年は、文教常任委員会「教育・社会問題特別委員会」「決算委員会」の各委員として活動をして参りました。生徒の立場に立った県立高校改革を、平成29年度から県立高校の改編・統合(20、30校)が行われます。少子化、人口減少が進む中で本県で

も、今後公立中学校の卒業生徒数が減少していく傾向で、同じ県内でも地域間の差があります。今後の改編・統合にあたっては単なる人口動態だけでなく、市立高校、私立高校などの地域の背景を考慮した上で、生徒の立場に立った計画を進めよう、議会でも求めました。

民主党かながわクラブ
県政報告Vol.4

住み続けたい神奈川実現のために

神奈川県議会議員 石川ひろのり

がん治療対策について、がんセンターでの放射線治療の一つである「重粒子線治療」の開始により、がん治療の選択肢が広がったことは、未来に向けた大きな一歩であると考えます。国で検討している先進医療の見直しについては、本県の考えが反映されるように厚生労働省や学会へ、しっかりと働きかけをして頂きたいことを議会でも要望しました。万が一、先進医療から外れた場合でも、治療費が高額で、治療を必要とする人が経済的理由で治療を受けられないことがないよう、

石川ひろのり 事務所

麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202
☎044-455-6611
☎044-455-6614
http://www.hiro-ishikawa.jp

「住み続けたい神奈川実現のために」 2016年1月8日

地域の活動

徹底的に 現場主義

▶高石神社 流鏑馬神事

1月13日、高石神社で伝統の流鏑馬神事に参加しました。高石地区では江戸時代から流鏑馬が行われ、現在では流鏑馬保存会の皆さんが保存・継承しています。現在は馬に乗らずに立ったままの射る「歩射」形式で行われています。神主が豊作などを願い、鬼門と裏鬼門に向け矢を放つと拍手や歓声が起こり、大いに盛り上がりを見せていました。当日は、一般参拝者も参加できることから多くの人で賑わっていましたが、その中でも、子どもたちが慣れない手つきながらも真剣に矢を射る姿に、この伝統行事がますます盛んになり、継承されてほしいと感じました。



▶どんど焼き

年始の恒例行事“どんど焼き”が麻生区内各地で行われ、今年も多くの会場にお邪魔しました。田んぼや住宅街の一角など場所は様々でしたが、どこも多くの方で賑わっていました。竹にだるまや正月飾りなどをくくり付けた櫓の高さは、10メートルをこえる物もあり、それが燃え上がる様子は、とても迫力のあるものでした。災難を追い払い、一年の無病息災を願う大切な行事ですが、年々場所の確保が難しく、継続が危ぶまれている地域もあると伺いました。地域の伝統行事として今後も継承されるように願います。



▶大分こども発達支援センター「愛育学園 はばたき」

「教育・社会問題特別委員会」県外調査で、大分県にある、大分こども発達支援センター「愛育学園 はばたき」を視察しました。この施設は、虐待、ネグレクトによって、心理的、精神的な課題を抱えた子どもに対して、医療的な観点から心理療法を行う児童福祉施設です。平成27年4月に開園され、大分県初の情緒障害児短期治療施設であり、同じ敷地内にある小学校、中学校の分校と連携を密にし、医療・福祉・教育が一体となった支援を行っている先進的な施設です。神奈川県においても、平塚市に平成29年4月開園に向けて施設整備を進めています。今回の調査で得たことを神奈川県でも活用できるよう、しっかり検討し、私なりのアイデアをまとめて参ります。



▶麻生区民会議

2月12日、麻生区役所で行われた「第7回麻生区民会議」に出席。今回は「若い世代が住みやすいまちづくり部会」と「市民活動・地域活動の活性化部会」の審議状況が報告されました。区民の皆さんが地域の活動などを通じてとらえた課題について真剣に話し合い、麻生区をもっと住みよいまちにするため、課題解決に向けた具体的な取り組みを審議しています。区民の方も傍聴できます。地域で課題となっている事例や取り組みについて詳しく知るよいきっかけになりますので是非足を運んでみてはいかがでしょうか。今後も活発で率直な意見が期待されます。



石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。
▶県議会レポート毎月発行！詳しくは事務所までお問い合わせください。

石川ひろのり 検索

ボランティアスタッフ募集

石川ひろのり事務所では 随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説の支援など短時間でもかまいません。皆様のできる範囲でお手伝いください。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。
▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動への
ご支援(個人献金)のお願い

石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。
▶石川裕恵後援会 【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777) 【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへのご意見・
ご質問をお待ちしております。

ご意見など

お名前

TEL

ご住所